

開催日時	2020年2月17日(月) 15:00-17:00
カテゴリー	事業戦略策定・事業戦略評価 IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価 共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 ヒューマンスキル
講師	遠藤修氏 （一般社団法人iCD協会 常任理事） 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社のシステム部門にて、システム投資計画、個人情報保護法対応、内部統制を担当、システム投資関連のシステム構築にてIT責任部門特別賞を受賞。その後、同社にてUISS を活用したIT人材育成および連結IT関連会社と連携した人材活用を主導し、成功事例として各種講演会、記事、事例集など依頼多数。2012年より独立行政法人情報処理推進機構にてIT人材育成施策を担当、iCDを世に送り出し、普及促進活動を推進。2018年5月より現職。 石井裕二氏 （三菱ケミカルシステム株式会社 執行役員 管理本部長）
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋區墨町2丁目ビル2階）
開催形式	講義
定員	50名
取得ポイント	※JUASアカデミーはITC実践力ポイント対象セミナーではありません。 100ポイント、および1000ポイントのマイナーポイントが取得できます。

ビジネスに直結する攻めのIT人材育成～i コンピテンシ ディクショナリの活用～

主な内容

デジタルトランスフォーメーション時代に入り、多くの企業で事業の改革やイノベーションの挑戦がなされています。最新情報や活用事例をご紹介します。事業環境の急速な変化に向き合うためには、経営者自身が変革に取り組みするためにコミットメントを持ち、組織の意識、体制、人材に対する環境整備、意思決定のあり方が重要となってきます。

変化に的確に対応するために、経営者は何から始めるべきなのでしょうか。

「2025年の崖」を迎える5年後、会社が生き残るには、何が必要なのでしょうか。

ここでは、i コンピテンシ ディクショナリ（iCD）を用いたAs-IsとTo-Beを見据えた具体的な現状分析（経営・業務・人材）の明確化と、その結果起こる成果についてお話いたします。

iCDとは、IPAが2014年より公開しているITを利活用するビジネスに求められる業務（タスク）とそれを支える人材の能力や素養（スキル）を「タスクディクショナリ」「スキルディクショナリ」として体系化したものです。

変化する経営戦略など組織の目的に応じて、自社の経営・業務改善、人材育成に活用できる辞書、iCDの成り立ちや具体的な活用方法をご紹介します。実際にiCDを活用している企業様の事例を通じて課題解決のヒントをご紹介します。

■プログラム

15：00～15：10 イントロダクション

15：10～16：00 「ビジネスに直結する攻めのIT人材育成～iCDの活用～」

一般社団法人iCD協会 常任理事 遠藤 修氏

16：00～16：30 「社員一人ひとりが成長を実感できる会社を目指して～iCDを「成長・育成」の強力なエンジンに～」

三菱ケミカルシステム株式会社 執行役員 管理本部長 石井 裕二氏

16：30～17：00 質疑応答